

# Thoku Medical Megabank Organization

## Contents

04	未来型医療で被災地復興を - 東北メディカル・メガバンク機構の発足
05	自分の役割は地域のネットワークを作ること 地域医療支援部門 菅原 準一 教授
06	Pickup Scene
08	Column
09	東北メディカル・メガバンク機構について

Tohoku Medical Megabank Organization

3.11 東日本大震災

Calendar 2012

10

機構長 山本雅之からのメッセージ

Tohoku Medical Megabank Organization



Masayuki Yamamoto Executive Director 壊滅的な被害をもたらした 2011年3月 11日の東日本大震災から、1年4カ月 が過ぎようとしています。単なる復旧に 留まらない創造的な復興の核になろうと 提案した、東北メディカル・メガバンク 事業がスタートしたのは今年2月1日、 間もなく5カ月になろうとしています。

私たちが目指しているのは、未来型地域医療モデル体制の確立です。医療情報のICT化とそのネットワーク化による医療情報連携基盤の構築をすすめ、一人一人の遺伝情報に基づいた医療・予防を実現するためのゲノム情報解析、その基盤となる大規模なバイオバンクの構築と長期にわたる健康調査事業、そして、そのための高度専門人材の育成も行っていきます。多岐にわたる事業の進捗を皆様と共有するために、このニュースレターを創刊しました。

略称 ToMMo (とも) に思いをこめました通り、多くの方々と、共に歩まなければこの事業の遂行はあり得ません。

お届けする紙面を御高覧頂き、私たち の今後について御指導を頂ければと存じ ます。

ロゴマークについて

この事業、機構が東北の地にしっかりと根付き 基礎を固め、次世代医療を築く基盤となるように、 積み上げ、築き上げるイメージを視覚化しました。

TOhoku Medical Megabank Organization

ToMMo = ≥ ₺

東北メディカル・メガバンク機構は、地域とともに 歩みます。



# 未来型医療で被災地復興を

### - 東北メディカル・メガバンク機構の発足

2012年2月1日、未来型医療を築いて震災復興に取り組む新組織、 東北大学 東北メディカル・メガバンク機構が発足しました。被災地 の地域医療再建と健康支援に取り組み、医療情報とゲノム情報を 複合させたバイオバンクを構築します。

東北メディカル・メガバンク機構は、2012年 2月1日に東北大学に設立されました。本機 構は、医学部の位置する星陵キャンパス内に 本部を置きますが、医学系研究科・医学部 運営されていきます。

バンク事業。本事業は、村井嘉浩宮城県知事 ました。 による要望や東北大学大学院医学系研究科 からの提案に基づき、東日本大震災からの 国の復興事業として、10年にわたって計画 されています。将来的に東北地方を先端医療 の一大拠点とすることを目標として標榜して おり、岩手医科大学も参画して岩手県におい ても本事業は行われます。

機構は、4月の新年度のスタートと共に、 事業を本格的に始動しました。この4月時点 で、本事業に専従する教員・事務員はともに 20 名程度ずつで、その後も順次増員されて からは独立した全学の新組織として、今後、 います。4月2日には辞令交付式や、事務室 が入居するプレハブ棟の看板除幕式なども行 機構が推進するのは、東北メディカル・メガ われ、事業の推進に邁進する決意を新たにし

> 写真上 | 辞令交付式で挨拶する山本雅之機構長。 写直中央 | 八重樫伸生副機構長。 写真下 | 辞令を受ける部門長・新任の専任教授ら。









機構が仮入居するプレハブ棟の前での看板除幕式 (2012.04.02)

### Interview with

# Junichi Sugawara

# 自分の役割は 地域のネットワークを 作ること

地域医療支援部門 菅原 準一 教授

"「津波被災地で産後うつが多い」という 傾向が2012年の我々のアンケート調査から わかりました。(このアンケート結果で問題 が見えた) 震災を挟んだ時期に出産した母親 のメンタル状況は、薬で解決する問題では なく、「(震災後に特有の背景など) 個々が おかれた背景を含めて推定原因別に分類し、 改善方法を考えなければ。」そう思いました。

産後うつは様々な種類があり、これらを群 分けして関連窓口へ導く仕事を、地域の保健師 さんや助産師さんと一緒に、患者さんの個々 のニーズや価値観に合わせた草の根ネット ワークを作って行うことが大事です。

被災地域の復興を担う世代を幅広くサポート したいと願っています。

今後アンケートで得られた情報を地域の病 院や医療人へ還元し、産後うつ病のリスクが 高い方々をケアする活動を、ToMMo の枠組 みの中で、地域支援センター(今後設置予定) を拠点に行う考えです。

私は ToMMoでは被災地の価値観とニー ズに添った視点で地域医療支援を行い、また ゲノムコホートから得た最先端医療を周産期 診療に持ち込みたいと思っています。

十年後には必ずこの事業は成功すると思っ ています、絶対に。"

2012年4月23日インタビューから再構成、インタビューの 全体、調査の詳細については ToMMo ウェブサイト参照 http://www.megabank.tohoku.ac.jp/majorresults/01.html



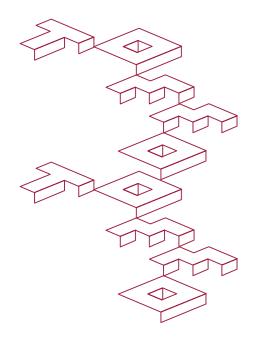
Tohoku Medical

Megabank Organization Topics

菅原 準一 Junichi Sugawara

東北大学医学部卒業。米国スタンフォード大学産婦人 科ポストドクトラルフェロー、東北大学病院周産母子 センター講師、ベルギーリューベンカトリック大学胎児 治療部門研究員、東北大学医学系研究科講師を経て、 2012 年東北メディカル・メガバンク機構発足に際し て地域医療支援部門へ着任し石巻地域を担当。 専門は、周産期医学、生殖内分泌学、産婦人科内視鏡





# Pickup Scene

2012年4月に本格始動した東北メディカル・メガバンク機構は、活発に事業を 進めています。各地での ToMMo 達の活動をご紹介します。

\* ToMMo 達 | 東北メディカル・メガバンク機構 (ToMMo) に関わる人達



東北メディカル・メガバンク機構 発足記者説明会開催 (2012.04.04)

事業の計画概要を説明しました。

(プレスリリースは東北メディカル・メガバンク機構 web サイ トよりダウンロードできます)



文部科学省 東北メディカル・メガバンク 計画検討会開催 (2012.04.05-05.30)

計画の説明が行われ、東北メディカル・メガバンク 訪問し、御協力を要請しています。 事業のあるべき姿について討議がなされました。 (写真は石巻市長訪問時のもの)



首長訪問 (2012.01-)

各メディアに対して東北メディカル・メガバンク 文部科学省で東北メディカル・メガバンク計画 被災地の自治体と連携関係を築くために、東北 検討会が開かれました(4-5月、計5回)。事業 メディカル・メガバンク機構は各自治体の首長を



百理町の苺

(2012.04.20)

ふれあい市場」(宮城県亘理町荒浜築港通り)で 山本機構長。



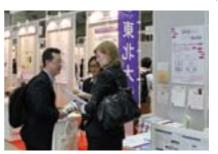
岩手医科大学のメンバーと東北大学のメンバーが会合 Date fm の番組へ出演

(2012.04.20, 04.24)

津波被災後、仮設店舗で営業を再開した「鳥の海 東北メディカル・メガバンク事業を共に進める 岩手医科大学と東北大学のメンバーが意見交換し、 販売される亘理町名産の苺と、それを買い求める 今後の事業展開に向けて協力体制の構築を確認し コーナーに ToMMo 達が出演しています。(この録音



毎週月曜朝 9 時 15 分から、Date fm (77.1MHz 仙 台)の「Crescendo」で「みんなでつくる未来の医療」 は東北メディカル・メガバンク機構 web サイトで聴取できます)



BIOtech 2012 出展

(2012.04.25-27)

ました。事業に関心を持つ企業や学術機関から 住宅集会所などへ生中継されました。 多数のお問い合わせをいただきました。



第4回「元気!健康!フェアin とうほく」での 講演が仮設住宅集会所へ中継 (2012.04.28)

イオテクノロジー展 / 技術会議) にブース出展し 題した山本雅之機構長の講演が、宮城県内の仮設



山本雅之機構長 紫綬褒章受章

東京で開催された BIOtech 2012 (第 11 回 国際バ 「東北大学医学部の東日本大震災への取り組み」と 山本雅之機構長の長年の研究業績に対して紫綬褒 章が受章されました。山本雅之機構長は環境応答 機構に関する研究で大きな貢献を成し遂げました。



「データ駆動型生命情報科学の挑戦」でメンバーが エコチル事業事務所訪問 講演 (2012.05.10)

雅之機構長が講演しました。



(2012.04-)

シンポジウム『データ駆動型生命情報科学の挑戦 山本機構長らは折に触れて、子どもの健康と環境 - スーパーコンピュータ「京」と生命情報科学の に関する全国調査 (エコチル調査) の宮城ユニット 接点 -』で木下賢吾教授と中山啓子部門長、山本 現地事務所を訪問し、スタッフと交流するなどし ています。



古川元久科学技術政策担当相が視察

(2012.05.13)

古川大臣が東北大学を訪れ、東北メディカル・メガバン ク事業の詳細について説明を受けると共に、実験施設 を視察しました。古川大臣は事業について、国の命運 を分けるような重大なものという認識を示されました。



南三陸町 公立志津川病院にて

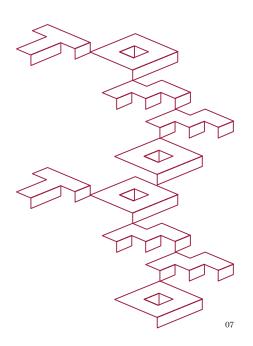
(2012.05.16)

志津川病院で、山本機構長は深い哀悼の意を表し 記念行事で、作家の塩野七生さんが登壇、「瓦礫 ました。機構は今後、被災地の病院等への支援 と大理石:廃墟と繁栄」をテーマに山本機構長、 を本格化させます。



塩野七生さんと山本機構長らが鼎談

津波で患者とスタッフが死亡・行方不明となった 東北大学医学部の同窓会(艮陵同窓会)の140周年 大内医学系研究科長らと鼎談しました。





岩手医科大学 小川彰学長と、東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 山本機構長

東北メディカル・メガバンク事業は、岩手医 科大学による「いわて東北メディカル・メガバンク機構」(仮称)と東北大学による「東北メディカル・メガバンク機構」が共に進める事業です。

東日本大震災津波の被災地で今なお厳しい環境下に暮らす方々への健康支援は切迫した問題です。そこで両大学は医療支援の強化と健康調査を行い、コホート研究を展開して、被災した方々の健康に資する取組を始めることとしました。

# Column

# 岩手医科大学と東北大学

東北メディカル・メガバンク事業を共に進めます



被災地で活動する岩手医科大学

岩手医科大学は医師・歯科医師を輩出し、また岩手県の地域医療を担ってきました。この度の大災害でも、岩手医科大学は岩手県の医療の司令塔の役割を果たしました。岩手県と共にオール岩手のいわて災害医療支援ネットワークを立ち上げ、各地から訪れた医療支援チームの窓口を一本化し、その支援や派遣先のアレンジメントを行いました。さらに災害時地域医療支援室で基幹拠点病院への医師支援の調整を行い、遠野市に基地を置き避難所へ診療チームを派遣してきました。

現在岩手医科大学は、災害医療を検証し災害に備えるため、災害医学講座を立ち上げるとともに、災害時地域医療支援教育センターの建設を進めています。また岩手県の委託で岩手県こころのケアセンターを設置して被災地で重要なこころのケアを行っています。

「いわて東北メディカル・メガバンク機構」(仮称)は、これらの事業と連携して地域医療の復興再生と健康増進への貢献を目的に活動します。

### 東北メディカル・メガバンク機構について

### ■ ミッション

東北メディカル・メガバンク機構は、未来型医療を築いて震災復興に取り組むことを目的に設置されました。機構は、東日本 大震災の被災地の地域医療再建と健康支援に取り組みながら、医療情報とゲノム情報を複合させたバイオバンクを構築します。 そして、構築するバイオバンクの情報とその解析結果に基づく新しい医療の創出を通じて、被災した東北地区への医療人の 求心力向上、産学連携の促進、関連分野の雇用創出、そして被災地の医療復興を成し遂げたいと考えています。

### ■ 設立背景

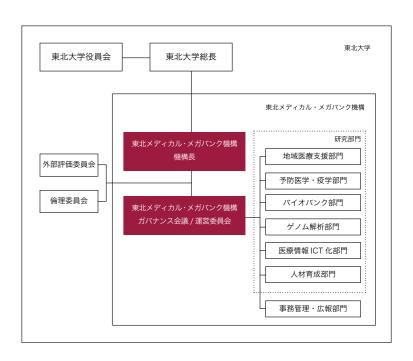
東北メディカル・メガバンク事業の提案に至る背景は大きく分けて、2つあります。

一つは、震災により甚大な被害を受けた被災地における医療の再生と地域医療の復興の必要性です。震災によって大きく傷ついた医療システムに対する応急措置に留まらない、復興の核になるようなプロジェクトとして本事業を位置づけています。もう一つは、世界的な趨勢である大規模な医療情報化の流れに対応し新たな医療を構築することです。世界各国で、ゲノム情報と環境、病気の三者の関係性を、膨大なデータを用いて読み解くプロジェクトが始まっていますが、日本においても、いくつかの先行プロジェクトの成果をもとに、より大規模に、網羅的に行う必要性が指摘されてきました。

### 組織

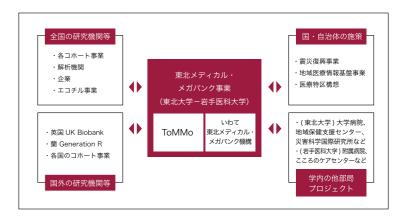
機構長 | 山本雅之 副機構長 | 八重樫伸生

地域医療支援部門 部門長 | 八重樫伸生 予防医学・疫学部門 部門長 | 辻 一郎 バイオバンク部門 部門長 | 栗山進一 ゲノム解析部門 部門長 | 五十嵐和彦 医療情報 ICT 部門 部門長 | 冨永悌二 人 材 育 成 部 門 部門長 | 中山啓子 事務管理・広報部門 部門長 | 八重樫伸生



### ■ 多方面との連携

東北メディカル・メガバンク事業は、実施主体となる二大学の協力に加えて、多くの機関・組織等との連携をもとに遂行されます。連携先は、学内の他部局・他のプロジェクトから、海外機関までに及びます。



08

### Feb.

- ●東北メディカル・メガバンク機構 設立。
- ●東北大学サイエンスカフェに木下教授 (ゲノム解析部門) が出演。

### Mar.

- ●石巻市/亀山市長、岩沼市/井口市長、登米市/布施市長、七ヶ浜町/渡邊 町長を山本機構長らが訪問。
- ●東日本大震災1年後報告会で清元教授(地域医療支援部門)が講演。

### Apr.

- ●機構事務組織が本格発足。
- ●発足記者説明会開催。プレスリリース発出。
- ●文部科学省で東北メディカル・メガバンク計画検討会が始まる。
- ●大崎市 / 伊藤市長、栗原市 / 佐藤市長、亘理町 / 齋藤町長、白石市 / 風間市長 を山本機構長らが訪問。
- ●シンポジウム「実世界ビッグデータへの情報科学の挑戦」で、木下教授 (ゲノム 解析部門) と長﨑教授 (ゲノム解析部門) が講演。
- ●第4回「元気!健康!フェアinとうほく」で山本雅之機構長が講演。仮設住宅 等に同時中継。

### May.

- Date fm 番組 Crescendo 内でコーナー「みんなでつくる未来の医療」がスタート。
- ●シンポジウム「データ駆動型生命情報科学の挑戦」に木下教授(ゲノム解析部門) と中山部門長(人材育成部門)および山本機構長が参加。
- ●古川科学技術政策担当大臣が視察。
- ●南三陸町 / 佐藤町長、女川町 / 須田町長、角田市 / 大友市長、山元町 / 齋藤町長、 名取市 / 佐々木市長を山本機構長らが訪問。
- ●塩野七生さんと山本機構長らが鼎談。

### lune.

- ●日本医療情報学会大会で冨永部門長 (医療情報 ICT 部門)、中谷教授 (医療情報 ICT 部門) らが講演。
- ●山本機構長が紫綬褒章受章。
- ●文部科学省で東北メディカル・メガバンク検討会提言を手交された。

安否確認と支援物資、 医師団送り出しに明け暮れた 10日間が終わると、 机の上に積み上がったのは、 「訴え」の山だった。

不平不満ではない。 「あれをやりたい」 「これをやるべきだ」

あの想いの結実こそ、 このプロジェクトだ。

一機構長 山本雅之

# 3.11東日本大震災



1995年 阪神大震災の時には兵庫にいた。 何の縁もゆかりもなかった東北に奉職して、 半年にも満たない日があの日だった。 週明けた月曜にはチームを率いて 石巻に出発していた。

つくづく縁があるのなら、 とことん付き合ってやろうじゃないか。 震災と地域医療は、 ライフワークだ。

一地域医療支援部門 清元秀泰



Medical Megabank

Calendar

2012

Editor in chief | Fuji Nagami Writer | Maiko Kageyama Designer | Miho Kuriki

発行日 | 2012.6.27

発 行 | 東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 980-8573 仙台市青葉区星陵町 2-1 TEL 022-717-8078

URL www.megabank.tohoku.ac.jp

印 刷|今野印刷株式会社 URL www.konp.co.jp/

All rights reserved. 本書の収録内容の無断転載、複写、引用等を禁じます。